

主催：国立高専機構鶴岡工業高等専門学校／共催：K-ARC拠点化推進協議会／後援：鶴岡市

K-ARCシンポジウム2022

～人が集まる場所で
活躍している技術～

参加費無料

2023年 **3** 月 **7** 日（火）13:00～16:40

鶴岡工業高等専門学校8号館

定員：70名 ※当日参加も可

申込締切：2月28日（火）

13:10～
基調
講演

「**3Dプリンタと資源循環**」【会場でのライブ配信型】

慶應義塾大学 環境情報学部・教授 田中 浩也 氏

14:15～
招待
講演

「**最大の笑顔を求めてきた事業の展開**」

株式会社 石井製作所 代表取締役社長 石井 智久 氏

研究事例
紹介

15:20～「地方における観光について」

鶴岡工業高等専門学校 創造工学科 情報コース 准教授 金 帝演

15:45～「経験則を科学する」

鶴岡工業高等専門学校 創造工学科 基盤教育グループ 准教授 伊藤 卓朗

16:10～「自然と共生する地産地消新エネルギーの提案」

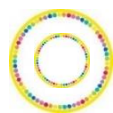
鶴岡工業高等専門学校 創造工学科 機械コース 助教 遠藤 大希

お問合せ
お申込み

鶴岡工業高等専門学校 総務課企画・連携係

TEL: 0235-25-9453 FAX: 0235-24-1840

E-mail: kikaku@tsuruoka-nct.ac.jp

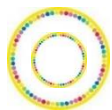


「3Dプリンタと資源循環」

慶應義塾大学 環境情報学部・教授 田中 浩也 氏

東京五輪2020の表彰台は、全国各地から使用済み洗剤ボトル25トン回収し、世界ではじめて3Dプリンタで100基を製作したものであった。講演者はその設計統括を務めた。

今回の講演では、世界初のプロジェクトに取り組んだ舞台裏を説明し、さらにその進化系として、地域で使用されなくなったプラスチック用品を集め、新たにまちで長く使用するベンチや遊具へとかたちを変える3Dプリンタを通した新たなアップサイクルのプロジェクトと、鎌倉での実験実証について紹介する。



「最大の笑顔を求めてきた事業の展開」

株式会社 石井製作所 代表取締役社長 石井 智久 氏

自分は何をやりたいのか。何をを目指したいのか。24歳の時に石井製作所の4代目として代表に就任した自分は、約10年間この悩みに悩まされていた。

稲作農業機械は年4%ずつ市場が減少している業界であり、生き残りの競争を行いながらも、新たな事業を展開しなければ会社として生き残ることはほぼ不可能である。育苗から直播へ、国内から海外へ、量産工場からメーカーへ、10年間で多くの人の力を借りて製造と農業分野で複数の事業展開と転換政策を行ってきた自分と事業の紹介。

K-ARCシンポジウム2022

参加申込書

お申込み：鶴岡高専総務企画・連携係へ電話、FAXまたはE-mailにてお申込みください。

申込日／ 令和 年 月 日

氏 名	フリガナ	電話番号	
E-Mail			
ご住所	〒		
お勤め先 (学校名)		お役職 (学年)	

(記載いただきました個人情報は本シンポジウムの参加者管理とご案内のみに利用し、その他一切の二次利用は行いません)

【新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する方針】

新型コロナウイルス感染症拡大防止と受講者の健康・安全を考慮し、以下の方針によりシンポジウムを開催します。

- ①会場内の備品・設備のアルコール消毒を徹底します。
- ②受講者の座席は間隔を広げて配置します。
- ③会場の入り口に検温器、アルコール消毒を設置します。
- ④スタッフはマスクを着用します。受講者の皆様にもマスクの着用をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、WEB開催になる場合がございます。

その際は、こちらからご連絡をさせていただきますので、必ずご連絡先(TEL、FAX、E-mail)をご記入ください。